

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3272100268		
法人名	堀建設株式会社		
事業所名	グループホーム悠心彩 けやき		
所在地	島根県鹿足郡津和野町河村506-3		
自己評価作成日	平成25年3月4日	評価結果市町村受理日	平成25年5月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 x.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=327

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPOLまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白濁本町43番地		
訪問調査日	平成25年3月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に恵まれ、季節を感じながら、ゆったりと過ごしていただけます。また、広い畑を有しており、植え付けや収穫の喜びを味わうと共に、新鮮な野菜を食して頂いております。
ご家族と共に楽しい時間を過ごして頂けるような場所づくりや、入居者様の希望により故郷訪問や親戚訪問をし、馴染みの関係の継続を支援しています。
24年度は地域交流を主な目標とし取り組み、行事へも積極的に参加しました。今後も引き続き取り組んでいきたいと思ひます。
馴染みの方々が気軽に来られ、一緒にゆっくり時間を過ごして頂ける場所になる事が私達の願ひです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

全職員が毎月接遇について目標に沿ったケアができたかアンケートを行い、時には結果をユニット間で競い合い、事業所全体で利用者を尊重したケアができるよう取り組んでいる。この取り組みを通して職員間で互いに気づいたことを注意し合えるようになっていく。リハビリ体操と、朝、水を飲むことを毎日継続して行い健康管理に努めている。誕生日には自宅に帰って家族や親戚と過ごすなど、利用者の思いや人との関係を大切に支援している。天気の良い日には外でレクリエーションをしたり食事をすることもあり、利用者に合わせて適切な声かけを行い利用者の笑顔を引き出している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念を職員玄関、事務所、各棟に掲示し、意識をもって仕事に臨むようにしている。スタッフ研修で理念について話している。	理念を接遇の目標の中に取りこみ、毎月「接遇の基本動作チェック」で全職員がアンケート形式で振り返りより良い支援を目指している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会花見に参加 職員は昼食作りを手伝い地域の人と一緒に昼食をとった。公民館祭りに参加、保育園との交流、中学校文化祭を見学する。保育園、公民館に入居者が作成した雑巾を贈り交流を図っている。	花見や公民館祭り、草刈りなどの地域行事に積極的に参加し事業所としてできることを一緒に行っている。職員の発案で公民館と保育園に雑巾を贈り交流が深まっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で自治会長に情報を提供している。 施設発行の便りを地域回覧とし様子を知らせている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの近況、相談事項の報告をし、意見を頂き、サービスの向上に繋げている。	活動や利用者の状況を詳しく伝え事業所の情報を共有し合っている。委員それぞれの立場から意見、要望が伝えられ、運営やサービス面に反映させている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	担当の方はもとより、運営推進会議への出席して頂くことにより十分な連携が図れる。	運営推進会議や研修などを通し情報交換や助言をもらい、互いに連携してサービスの向上に取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関等は日中自由に入出入りも出来る環境であり、出られる入居者の方が居られても、職員で連携をして見守りを行っている。	ホールには必ず職員がいるようにし、外出希望の利用者にはユニット間で協力して行動を見守る体制をとっている。接遇の目標の中に利用者に対する言葉遣いを挙げスピーチロックに気をつけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員の虐待に対するアンケートを行い、それに基づいて注意する点の把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部での研修(成年後見人制度、虐待について)参加している。 H24.10.31 H25.3.8		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前、又は契約時に話をする時間を設け現状の把握に努めている。説明を行いご家族の納得・理解を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会の意見交換に基づき要望等をスタッフ間で共有し、御家族に送付している。玄関に意見箱を設置している。御家族の来訪時、職員が時間をとり話をしている。	家族の来訪時に話を聞いたり、普段から家族会会長が家族の意見を聞き、運営推進会議で代表して意見を伝えている。家族会にはほとんどの家族が出席し、家族だけの話し合いの時間もとっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ研修において、毎月アンケートにより、スタッフの意見や提案を聞き、ディスカッションをしている。代表者に意見を伝える方法として意見箱が設置してある。	代表者に直接意見を伝えられるように意見箱が設置されていて希望の物品を購入してもらったり、スタッフ研修で職員の意見や提案を聞きサービスに繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得者を優遇し、やりがいのある職場作りをめざすと共に給与水準の向上を図り、職場環境の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人教育は教育計画に基づき実施している。現任教育はスタッフ研修及び会社の研修の情報は流しており、自己研修の参加もある。スタッフ研修及び外部への研修の情報提供により自己啓発をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	圏域のグループホーム交流会が年間2回実施された。 3グループホーム交流研修実施により、スタッフ4名の訪問5名の受け入れを実施した。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	居宅やかかりつけ医、本人、ご家族より情報収集し、又面接時ゆっくり時間をかけて傾聴している。サービス提供開始時、不安が無い様スタッフ間で情報を共有できるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談援助として、面接、電話での対応に応じている。個々に応じて状況の把握に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	おかれている状況、気持ちを傾聴し相談に応じている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	野菜の苗の植え付け、収穫を実施している。 食事の下処理、食器洗い、居室、ホールのモップ掛けなど一緒に行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	各月毎、近況報告の便りを家族あてに送付している。必要に応じて電話連絡をし、面会時には家族の希望等を聞き情報の交換をしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	墓参り、行きつけの商店で買い物や散髪を続けている。誕生日に兄弟の家で時間を過ぎして頂いた。面会の方とは居室でゆっくり話をさせて頂いている。	ふるさと訪問や馴染みの美容院や店に行き、誕生日には兄弟の家で過ごし仏様を拝んだり、実家で親戚に会うなど、思いを大事にした支援をしている。遠方の家族には泊ってもらい利用者との関りを大事にしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ほぼ毎日ホールに皆様、輪になって頂きリハビリ体操やゲームなどを行い、孤立しないように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談や支援はないがその後の経過、様子伺いのため面会に行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、ご本人の要望や気づきの把握に努めモニタリングによりサービス提供を検討している。又、ご家族様には近況報告と共に希望等を伺っている。	様子を見てお茶を勧め気持ちを聞くなど、場面を工夫して思いの把握に努めている。入院で会話が困難になった利用者に、声をかけ根気よく聞くことを続け、会話ができるようになった事例があり家族から喜ばれた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者のアセスメント等を把握しながら、先入観をもたないように努めながら介護にあたっている。また、会話をしていく中で気づいた事は、スタッフで共有するように勤めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の心身状態、生活リズムの情報の共有、把握に努め、それにあつた一日の過ごし方をしている。又、出来ることの発見、情報の共有に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	その都度カンファレンスを行い、良いケアが出来る様に努めている。家族様から要望があれば計画書等に反映している。	具体的なプランを作成し全職員で共有している。担当職員が毎月モニタリングをしケアマネージャーに伝え、現況に即した計画を立てている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づき等はケース記録や介護記録に個別に記入して職員間で常に情報が入るようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護度や体調など本人の状態に合わせて家族と話し合いを行い、看護師と連携を取っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの来所は多くあり楽しませて頂いている。 自治会行事への参加をしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の往診がある。家族による受診希望については、柔軟な対応、支援をしている。(眼科、整形外科等)必要時には主治医と連絡がとれる体制を取っている。	2ユニット共に利用者、家族の納得した医師を受診し、月に2回往診がある。夜間の急変時にも医師に電話で連絡することができる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の変化は看護師に報告、相談し指示をうけ対応をしている。また、24時間連絡可能であり、相談体制は出来ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は情報提供表を作成し渡している。退院時には病院からの看護添書により、情報交換に努めている。入院中は面会にも伺っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期についての、意向は確認出来ている。 看護師や主治医とも連絡を密にし、支援している。ケースごとに話し合い、支援している。	利用者、家族の意向を聞き、医師と連携し個別に話し合いをしている。病状的に状態が急変する心配のある利用者には医師と連携し緊急対応マニュアルを作成し全職員で共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員でカンファレンスを行い、対応について確認している。 急変時の対応方法についても、全職員のわかる場所にファイリングしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練、緊急対応訓練参加、緊急連絡訓練、救急救命訓練を実施した。入居者別避難のシュミレーションの実施をした。地域の人々の避難訓練の参加もあり、近隣連絡先として緊急連絡網にも入ってもらった。	定期的に訓練を実施し運営推進会議で報告している。前年度の訓練には地域の方の参加があり、その時に出席された意見を受けて連絡網の中に地域の人を組み入れた。	地域の人との合同訓練を継続して行われることを望みたい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室の扉を開けっ放しにしない。入る時はノックをするなど、個人の場と共用の場の区別をつけている。	排泄支援時には利用者の羞恥心に配慮し、プライドを傷つけない言葉かけに努めている。利用者を尊重し、利用者から教わる場面を大切にしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の方、一人一人に会った声かけをする。会話の中で本人の意思を聞けるように働きかける。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間はその日体調や入眠時間等を考慮し希望を聞く。レクや外出等、可能な限り対応する。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えの際は希望の服を選んで頂いている。気温などに合わせ、アドバイスをする。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る能力を活かしながら、職員と一緒に下ごしらえ、準備、片付け等をしてもらう。	ユニットにより利用者のできることに違いがあるが、盛り付けや下膳、台拭きなどできることをしてもらい、5のつく日は各ユニットで食事作りをしている。職員も一緒にテーブルを囲み和やかな場面作りをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日を通してのカロリーを考えての献立が立てられ個々に合わせた量、水分量も確保できる様、声かけ、摂取して頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、義歯洗浄、歯磨きは実施し、夜は義歯洗浄剤につけて衛生保持に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の失敗がないようチェック表を見ながら、さりげなく支援している。 排便も日報等でパターンを把握している。	尿意が訴えられない人には時間を見て声をかけ、誘導がスムーズにできない場合はトイレ以外のことで自室に誘いトイレで排泄できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時、水を飲んで頂いている。 午前中の水分が少ない時は午後しっかり飲んで頂くよう支援する。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の都合で「今日は入らない」と言う方には無理強いしないよう時間を空けて声掛けをする。又、体調不良の方が入浴しない日が続くと、体調の様子を見ながら清拭、ドライシャンプー等で対応している。	希望や体調を見ながら支援し、浴槽の中に入れない人にはシャワー浴、足浴で対応し体が冷えないように配慮している。気分転換に入浴剤を使用することもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食事後、和室やソファーでくつろぐ方、居室で休まれる方、各人各様である。 和室で休まれる方には、毛布や枕を用意している。夜間の就床の際には空調にも配慮し、カーテンの閉め忘れにも注意している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は看護師があたる。服薬の時、ご本人の前で日付、名前、食前、食後間と袋数の確認を行い、飲み込まれるまで確認する。服薬の説明書はファイルしており、いつでも見ることが出来る。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る方、又は進んでされる方には家事等手伝って頂いている。 散歩に出られる方に対して安全を考慮しながら見守っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	初詣など行事で取り入れている他、地域で祭りがある時には積極的に外出している。 天気が良い日など、施設周辺の散歩を行っている。	散歩や日光浴、畑仕事、ドライブ、時には外でレクリエーションや食事をし外気に触れる機会を作っている。遠くまで出かけられない人にも近場で花見ができるように支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持している方としない方がいる。外出の歳に希望があれば買い物をして頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話がしたいと訴えがあれば、電話機のある事務所まで案内し、届いた葉書等も本人がいつでも見られる様居室の壁などに貼ったりしてある。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用ホール壁面に入居者、スタッフ合作の作品を毎月掲示し見て頂いている。和室は自由にすごされる団らんの場所になっている。	利用者と一緒に作った貼り絵や、玄関やトイレ、いろいろな所に花を飾り季節感のある環境作りをしている。換気や温度調整をこまめに行い快適に過ごせるように配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールでソファーに座り、入居者同士話をされたり、食事で新聞を読んだり、隣の棟に行き、レクをしたりと自由になっている。午後より昼寝をする時間もあり、思い思いに過ごしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	机や家具類等ご自宅で使っていた物を持ち込んで頂き、使用している。	使い慣れたタンスや机などを持参し、孫の写真や手紙、購読している新聞、きれいな整理かごなど置かれ、利用者や家族の思いが反映された居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂場は、字や絵でわかる様に貼ってある。居室内も本人の状態に合わせベッドを家族様と相談の上、変更させて頂き対応している。ベッドを利用されない方には畳対応も行っている。		